

2023

5.24 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN__kA8Ju8SRoCadNUTh9qmYA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

YouTube を活用した教育の 長所と短所

司会：キム シューマツハ 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



Key Words

教育

YouTube

STEM

国際

ロバートソン・アンドリュー 准教授

九州大学 工学研究院 工学部 (府)



ロバートソン・アンドリュー先生は英国出身で、1998年に化学の博士研究員（ポスドク）として九州大学に来ました。2年間研究を続けた後、自身の会話 / サイエンス英語学校を設立し、10年間運営しました。2010年に国際化拠点整備事業（グローバル30）プロジェクトの一員として九州大学に戻り、現在は留学生と日本人学生に化学とサイエンスコミュニケーションを教えています。2021年には、YouTubeを使用して世界中の視聴者に化学を教える方法を研究するための研究助成金が授与されました。ロバートソン先生が運営する「Three Twentysix」と呼ばれるYouTubeチャンネルは現在、アメリカ、イギリス、インド、フィリピンなど、世界中から700人の登録者がいます。現在、ロバートソン先生は自身が作成した英語ビデオのテンプレートを使用して、基本的な化学とサイエンスを説明するためのYoutubeチャンネルを拡大することを計画しています。

多くの問題があるにもかかわらず、YouTubeは有用な教育ツールになり、選択できるほぼすべてのトピックを説明するビデオが世界中に存在します。教育者にとって、YouTubeは世界中、いつでもどこでもインターネットに接続できる人なら誰にでも質の高い授業を提供できる可能性を秘めています。しかし、YouTubeには非常に多くの動画が存在するため、どんなによく教えられたとしても、残念なほど少ない再生回数で動画が消えてしまう可能性はるかに高いのです。本発表では、YouTubeを教育メディアとして使用する際の多くの困難や短所について説明しますが、突き詰めて検討し、アイデアや創造性を活用した少しの工夫で、Youtubeでの教育を世界中に伝える方法や長所についても紹介します。